

令和3年度（2021年度） 鴻池小学校 第2回学校運営協議会 議事録

1. 日 時 令和3年12月15日（水）18:00～19:15
2. 場 所 鴻池小学校 視聴覚室
3. 参加者 協議会委員 : 阪田会長・寺西副会長・北田委員  
清水委員・中川委員・大西委員  
教職員 : 宮谷校長先生・安井教頭先生  
その他 : 水國（ディレクター） 欠席者 1名（堤委員）  
教育委員会より：太田教育委員・江原教育委員・戸田指導主事

4. 学校長あいさつ

早いもので2学期も残すところ1週間。年末の忙しい時期にお集まりくださりありがとうございます。コロナの影響で従来通り出来ないことが沢山ありましたが、コロナの中でも最大限の配慮をし、努力してきました。体験学習、出前授業、他学年との交流活動等は状況に応じて実施できた。子ども達は活動を通して心と体が育ったと感じています。本日は①『学力向上について』②『学校運営について』③『より良い鴻池小学校のために』の3つのテーマで進めていきます。よろしくお願いいたします。

5. 内容

(1) 学力向上について

・全国学力学習状況調査結果より

思考力・判断力・表現力が大事だが、本校の子どもたちはそこが弱い。そこに力を入れるよう授業内容を改善しながら取り組んでいるところ。それらの力が弱い為、記述式に弱さがある。（実際の国語と算数の問題の資料を見る）

①基礎的な知識が身につけていない

②自分の思いを表現できない

③自尊感情の低さ

この3点が本校の課題ということが分かる。

・学力向上委員会より

①2学期はどのクラスも朝学習100%できている。

②ペアやグループ活動ができるようになり、表現力がついてきたと感じている。

③学力のベースは学級力であり、学級活動が大事。

④誰でも自由に出入りできる OPEN な学級運営。

⑤地域の力を。連携を深めたい。

⑥子どもの意欲に繋がる振り返りを。

## (2) 学校運営について

### ・学校評価より

評価内容をすべて変えた。教育目標『ひとみ輝き 笑顔あふれる 鴻池小学校』を達成するためには何が足りないのかを考えて作り変えた。

(学校評価総括表と関係アンケート項目の資料より)

1学期の評価より、85%だった朝学習は2学期100%に。

しかし、読書活動は非常に悪い。家庭においては39%。読書日記を付けている。1～6年の1ヵ月の平均が7冊ではあるが、温度差がある。

タブレットの使い方に問題があるように感じている。来年度ルール作りをして活用方法も含めて考えていく。

→鴻池の子ども達は自尊感情が低いとおっしゃるが、高めるためにどのような事をしているのか。

A、学校においては、交流活動と普段からの声掛けと日々の活動の中で高められると考えている。交流活動では達成感と自己有用感を得られている。教員には夏季休業中に研修をし、褒め方の共有等をしている。

→民間企業には褒め方が上手くなるための研修会がある。そういう研修を先生方にも参加できるように。

→学習状況調査での質問「自分にはよいところがありますか?」「将来の夢や目標がありますか?」聞き方を変えた方がよい。自己肯定感があるから将来の夢を持つことができる。自己肯定感と夢や目標はリンクしている。

→褒めてもら王カードをPTAが主となり取り組んでいる。褒め方が分からない保護者が多いと感じる。褒めることには①行動承認②存在承認の二つがある。②の存在認証をご存じない方が多い。

→ダメ出しはできるけど、良いところを見つけられない方が多い。良いところはいっぱいある。良いところを見つける目をもってほしいと思う。

→日本は謙遜の文化。子どもの前で「いやいや、うちの子なんて…」とつい謙遜してしまう。6年生で自分で自分の事をすごいと思っていたら調子乗ってる…そういう謙遜文化だから、難しい部分ではあるが、諸外国のように「うちの子すごいでしょ」と人に言える環境になったらいいなと思う。

A、清水委員に是非職員研修してもらいたい。学校でも、家でも同じようにできたらと思う。

## (3) より良い鴻池小学校のために

### ・KJ法を使って

#### 教員と地域・保護者

- ・教職員参加の運営協議会の開催
- ・先生参加の茶話会

#### コロナ

- ・そろそろマスクを外してあげたい
- ・マスクに絵を書いてみよう
- ・大人飲食店解禁。子どもの黙食いつまで?

### 教職員

- ・先生版「のびる力」で子どもが評価
- ・先生方の横・縦のつながり「元気な職員室」
- ・普段から発表・表現しやすい環境づくり

### 読書

- ・好きな本を紹介する
- ・好きな本を読んでみんなに紹介（おススメ）する

### マイナスをプラスに

- ・クラスで発表して間違えると「ナイスチャレンジ！！」
- ・不登校への肯定的イメージ
- ・否定するのではなく、みんなでアドバイス

### 地域

- ・出前授業（クラブ活動）
- ・ビオトープの活用
- ・あいさつ運動
- ・あいさつボランティア
- ・助け合い運動
- ・ピクニック・キャンプ週間
- ・読書ボランティア等風通しのよい学校づくり

### イベント

- ・特技を発表できる会を作る
- ・お楽しみ会をちょこちょこする
- ・他学年との交流
- ・他のクラスとの交流
- ・先生とたくさん遊ぶ

### 褒める

- ・子どもも先生も良いところを認め合う
- ・子ども同士で褒め合う授業
- ・子どもも先生も笑顔で！
- ・子ども同士褒め合いっこする

○『すぐにできること』、『今後やってみたいこと』に分けられる。教職員で共有して、出来ることから実践していきたい。ありがとうございました。

### 6. その他

- ・次回の学校運営協議会は2月を予定しています。多分2月16日になるのでは…と思いますが、またご連絡いたします。

#### ・PTAより

愛護パトロールで共有したいところの3点を報告。

①スポセンテニスコート横の街灯に木の枝がかかっている暗い。

→市の道路課に言えば対応してくれる。→学校から連絡する。

②スポセン内競技場のシャッターが空いていることがあり、子どもが入り込む心配あり。→空いても入らないように子どもに周知を。

③正門から管理棟までの間が暗い。児童クラブの車の送迎と、パトロールの集合時間が重なったこともあり、危険に感じた。→学校で対策を検討。

以上、愛護の中で話し合っただけの事を保護者にもお手紙で発信します。

・地域より

12月18日（土）の土曜学習わくわくサタデー「英語であそぼう」に参加した子ども達に、地域から予算を出して、クリスマスプレゼントを渡します。

7. 閉会あいさつ

皆様お疲れ様でした。2学期も普段通りの学校行事は難しい中で、工夫していつもとは違う形ではありますが開催していただき、子ども達が楽しみにする様子や楽しかったという声が聞けて良かったと感じています。私たちにとっては同じ繰り返しであっても、子ども達にとっては一年生の一年は一生に一度、一年一年が一生に一度なので、出来ることはいっぱいさせてあげたいなあと思います。今日参加させていただいて、自分が思っていることと学校の考えていることが似ているので、バレーの指導をしている私には勉強になり有難く感じています。今後とも子ども達のためにどうぞよろしくお願いいたします。（阪田会長より）